

2007 年度



□ユニフェム親善大使 ニコール・キッドマンが、ユニフェムのホームページ「女性への暴力に反対の声を上げよう」へのアクセスを呼びかけています。

こんにちは。

世界中の女性の内、3人に1人が、一生のうちに虐待や暴力を受けている可能性があります。

これは恐るべき人権侵害です。しかし、私達はこの事実を終わらせることができます。

国連女性開発基金(ユニフェム)の親善大使として、私は皆さんにインターネットで「女性への暴力に反対の声を上げよう」のホームページにアクセスしていただきたいのです。世界中の人々がこの運動に参加すれば、各国政府に、女性への暴力を無くすことを最優先課題にしなければならないという強いメッセージを送ることになります。

何十万人、何百万人の人々に行動を起こしていただきたいのです。そして、女性への暴力を防ぎ、被害を受けている人達を守り、支援を提供することができるような体制が作られるように、皆さんに力になっていただきたいのです。どうすればそれができるでしょうか。あなたのお名前をこのホームページに書き込んでいただければ良いのです。そして、お友達やご家族や同じ職場の人達にもそうするように勧めていただきたいのです。

かつて暴力や虐待を受けたことのある女性や少女達の声を世に広めるために、

私はユニフェムの親善大使になりました。ですから、私はこの重要な運動に真っ先に署名しました。私がしたように、あなたのお名前を書き込んでください。簡単に、しかもすぐにできます。あなたに署名していただくためのホームページを作りました。アドレスは、

<http://www.saynotoviolence.org/>(ユニフェムホームページ 日本語表記ではありません) です。

より多くの署名が集まれば集まるほど、女性への暴力に終止符を打つことを最重要課題とすることができ、この世界を女性達がより安心して暮らすことのできる場所にしていくことができるのです。

ご署名に感謝いたします。

ニコール・キッドマン

ユニフェム親善大使

(翻訳) ユニフェム大阪 河合和代